

子供用椅子の作り方

1 材料

ホームセンターで市販している通称1×4（ワンバイフォー）材1枚使用します。
材料は沢山ある中で、そり、ねじれ、傷等のないものを選びます。1枚300円以下で購入できますが、良い材料を選べば、がたつき、見た目にも仕上がりに差が出ます。
ネジは40mmが24本、35mmが4本（脚の内側になる部分のネジ）を使用します。
接着剤は速乾性の木工ボンドを使います。

2 使用工具等

・のこぎり、ドライバー（電動インパクトドライバー）、キリ（電動ドライバー）、クランプ、指金、スコヤ、サンドペーパー、糸鋸等

3 墨付け

材に切断する線を描くことで、指金、スコヤを使って行います。
とても重要な作業で、いい加減になってしまうと、仕上がりがキレイにいきません。
いざ組んでみた時にすき間が空いたり、はまらなかつたりすることが無いように、細心の注意を払って作業しましょう。

材を切る

図面を参照にAから順番に寸法どおりに切ります。
ちなみにAは椅子の後ろの脚、Bは前の脚、CとDは座面の枠、Eは背もたれ、Fは座面になります。
のこぎりを使って手で切るのは難しいと遠慮がちですが、基本さえ押さえれば問題はありません。

- ・材の3方向にスコヤ、指金等で墨をつける。
- ・材を作業台にクランプで固定する。
- ・ツメをガイドにしながらか、墨つけ線の少し外側に切り込みを入れる。
- ・奥の墨つけ線に注意しながら、上面の墨つけ部分を切り込んでいく。
- ・手前の墨つけ線に注意しながら切る。
- ・最後に切り落とされる材を持って切り離す。

それでも自信のない方はホームセンター1カット50円位でカットしてもらえます。

4 ネジ穴をあける

キリやドリルを使います。
正確にあけることで仕上がりの美しさや精度が違ってきます。作品のワンランクアップの秘訣になります。

キリ

- ・墨を確認してキリの先をあてる。
- ・軽くもみ、跡をつける。
- ・キリを垂直にして、両手をこすり合わせるように行う。

ドリル

- ・電動ドリルを垂直にして、ネジより少し小さめの穴をあける。
- ・裏にバリができないように、下板を使います。

5 ヤスリがけ

組み立てる前に材料をサンドペーパー等で磨きます。

6 組立

- ① Cを2枚、Dを2枚使用して、図面のようにドライバーを使いネジで組み立てる。
材と材が合う部分にボンドをつけると強度が増します。
ネジの頭が材から飛び出さないようにする。出ていると引っかかってしまいケガや、衣類に傷をつけてしまう。
- ② ①にBの脚をドライバーとネジで組み立てる。この時も材と材が合う部分にボンドをつける。
- ③ A（右でも左でもよい）にFをドライバーとネジで組み立てる。
- ④ ②に③をドライバーとネジで組み立てる。材と材が合う部分にボンドをつける。
- ⑤ もう一つのAを④にドライバーとネジで組み立てる。材と材が合う部分にボンドをつける。
- ⑥ ⑤にF二枚をドライバーとネジで組み立てる。

7 仕上げ

完成した作品は、そのままでは見栄えが良くありません。材の表面に汚れや墨の跡が残っていたり、傷もついていることもあります。

木目に沿ってサンドペーパーで全体をみがきます。

今回はしませんが、ニスまたはオイルを塗ることで作品に表情をつけることができます。